



「明」

校長 尾崎 淳一

「お日さま」と「お月さま」を並べると、「明」という漢字が出来上がります。私たちが「日光」と「月光」を同時に浴びることは滅多にありませんが、周りはさぞ明るくなることでしょう。ただ、私にとって、太陽は「赤く情熱的」なイメージ、月は「青く静か」なイメージがあり、二つの光は性質が異なるように感じます。



先日、男子バレーボール部の2年生8名を校長室にお招きし、「竜北賞」を授与することができました。普段からチームワークを高め、新人戦では数々の強豪に競り勝ち、見事に県大会まで勝ち進んだからです。男子バレーボール部は、雰囲気明るく、挨拶もしっかりとでき、応援したくなるチームです。勝利を引き寄せる「竜北男子バレーボール部、G o!!」も、試合会場で一緒にやりましたね。

せっかくの機会ですから、好成績を残すことができた秘訣を一人一人に尋ねました。すると、「楽しく取り組んでいるから」「仲間と一緒にだから」「練習で技術を高めているから」などの答えが返ってきました。なるほど、バレーボールは一人ではできないので、日頃から仲間と楽しく取り組むことが大切なのですね。先日、授業を見に行くと、ペアで英会話をしたり、グループで電流の実験をしたりと、クラスの仲間と共に学びをたのしむ部員の姿を見つけました。部活を頑張ることも大切ですが、部活での頑張りを日常生活に生かすことが、その何倍も大切と私は考えます。これからも「情熱」と「冷静さ」を兼ね備え、誰からも応援される明るく素晴らしいチームに成長できることを楽しみにしています。



本日で、2025年の登校日も終了しました。どんな一年になりましたか。当然、毎日が楽しいばかりでなく、困難にも直面したことでしょう。3年国語の教科書に掲載されている小説『握手』の中で、ルロイ修道士は言います。「困難は分割せよ」と。どんな難問でも、細かく区切れば乗り越えることができます。例えば、「受験勉強」と聞くと逃げたくなりますが、目の前の問題集を1ページずつ解いていくことで、受験を乗り越えることができます。いわゆる「スモール・ステップ」ですね。困難にぶつかったら、ルロイ修道士の言葉を思い出し、可能なことから取り組むことで、一筋の光が見えてくるはずですよ。

冬休み中も、竜北生が健全・健康に過ごせることを願っています。「竜北生、G o!!」

2025年はお世話になりました。私自身、新たな環境の中で、小鳥のように震えていましたが、竜北生と保護者の皆様のお蔭で、一步ずつ前に進めました。感謝いたします。

（令和7年12月23日）